

8月

新着図書

#台所のあるところ

著者名:原田 ひ香
出版者:文藝春秋

6つの台所をめぐる「わたし」の物語。彼氏と同棲する27歳OLの一口コンロ、夫が小柄な妻のために作った、低めの吊り棚、4人の子のお腹を満たすため、常に置かれた中華鍋…。世代も境遇もバラバラの女性の前には、深夜の30分ドラマ「台所のあるところ」があったー

誓いの証言

著者名:柚月 裕子
出版者:KADOKAWA

東京・中野に弁護士事務所を構える佐方貞人のもとに、警察から一本の電話が入った。さきほど逮捕した男が、佐方を弁護人に指名しているという。その男とは久保利典、佐方の大学時代の同期だった。久保の容疑は不同意性交等罪で、被害者は行きつけのクラブの女性であるらしい。無実を主張する久保が嘘をついているとは思えない佐方は、事件の経緯を調べることにする。すべてのはじまりは、約20年前に香川で起きた、ある石職人の死亡事故にあったー。

ファイア・ドーム(上)

著者名:辻村 深月
出版者:小学館

人はなぜ大きな事件に魅了されてしまうのか。噂は、軽薄な娯楽だ。25年前、平穏だったはずの地方都市は、百貨店受付嬢誘拐殺人事件の発生、その報道により揺り動かされ、「噂」という大量の炎が、加害者のみならず被害者にも降り注ぎ、燃えさかった。ようやく静けさを取り戻したかに見える町に燻り続ける因縁が、いま新たな事件を呼び起こすー。

ファイア・ドーム(下)

著者名:辻村 深月
出版者:小学館

真実を知っても、人は忘れていく。25年前の夏、この町には炎が降り注いだ。百貨店受付嬢誘拐殺人事件という、身近で突然起こった全国レベルのニュースを、誰もがいつまでも終わらせたくなかった。傷ついた人をさらに傷つけてしまった土地に、事件の火の粉は、まだ残っている。夏の日、写生遠足の帰りに姿を消した少年は無事に帰ってくるのか？ 25年前の事件には、「まだ明かされていない」事実が本当にあるのか？

最後の証人

文庫

著者名:柚月 裕子
出版者:KADOKAWA

検事を辞して弁護士に転身した佐方貞人のもとに殺人事件の弁護依頼が舞い込む。高層ホテル刺殺事件を担当することに。被疑者の有罪確実だと思われていたが、佐方はそれを疑い動き出す。佐方の賞賛とは。やがて裁判は驚くべき展開をみせる……。

検事の本懐

文庫

著者名:柚月 裕子
出版者:KADOKAWA

ガレージや車が燃やされるなど17件続いた放火事件。陰悪ムードが漂う捜査本部は、16件目の現場から走り去った人物に似た男を強引に別件逮捕する。取調を担当することになった新人検事の佐方貞人は「まだ事件は解決していない」と唯一被害者が出た13件目の放火の手口に不審を抱く

検事の死命

文庫

著者名:柚月 裕子
出版者:KADOKAWA

電車内で女子高生に痴漢を働いたとして会社員の武本が現行犯逮捕された。武本は容疑を否認し、金を払えば示談にすると少女から脅されたと主張。さらに武本は県内有数の資産家一族の婿だった。担当を任された検事・佐方貞人に対し、上司や国会議員から不起訴にするよう圧力がかかるが、佐方は覚悟を決めて起訴に踏み切る。権力に挑む佐方に勝算はあるのか

ふつうの家族

著者名:辻堂 ゆめ
出版者:講談社

湘南の地に一戸建てを構える桜石家。何か特別なところがあるわけではない、絵に描いたような「ふつうの家族」の、はずだった。ある嵐の夜、桜石家に現れたのは一人の若い男。高熱をだして倒れ込んでいた男は家族の誰かが引き入れたに違いない。誰が、なんのためにこんなことをしたのか？ 家族が互いに疑念を募らせていくうちに、それぞれ家族には言えなかった「秘密」があぶり出されていくー。

8月

新着図書

歩く地図鎌倉・横浜散歩 2027

著者名:O

出版者:成美堂出版

超詳細地図で歩ける鎌倉・横浜最新33コース。

夜明けのハントレス

著者名:川崎 秋子

出版者:文藝春秋

命を撃つ。その意味を、私は掴みたい。大学生のマチが出合った狩猟の世界。新人ハンターとして歩みを進める彼女の前に、一頭の熊が現れる。ある女性ハンターの誕生と葛藤、そして熊との真剣勝負。

みえないおしごと

著者名:とくながけい

出版者:中央公論新社

身近で見慣れたあれこれが、覗いてびっくり、まさかの中身! 回転ずしは人力で、公園の噴水は、実は……。自由でユニークなアイデア、水彩や色鉛筆を組み合わせたノスタルジックなタッチと巧みな構図で、読む者にページをめくる楽しさと新たな視点を与えてくれる絵本です。

ウイルス

著者名:真山 仁

出版者:潮出版社

国内で、正体不明のウイルスが出現した。凄まじい感染力と致死率。飛び交うデマと陰謀論…。日本消滅の危機すら迫る中、その撃退に挑むウイルスハンターたち。果たして、我々はコロナ禍の教訓を生かし、立ち向かえるのか。緊迫のパンデミッククライシス小説。

おべんとうバスのころころいん

著者名:真珠 まりこ

出版者:ひさかたチャイルド

ハンバーグくんにたまごやきさん、トマトちゃん…。おなじみのキャラクターがバスに乗って、ころころ山へおでかけです。山の上から順番に、ころころころころ、ころころりん。さあ、次のころころはだれかな?